



結核から身を守ろう

9月24日～30日は
結核予防週間

健康推進課
☎67♦1151

皆さんは、「結核は過去の病気」と思っていますか。しかし、結核は今でも1日あたり6.3人の患者さんがなくなっているわが国最大の感染症です。

昨年、蒲郡市では、新たに9人が結核と診断され、そのうち6人が70歳以上の高齢者でした。結核患者も人口の高齢化に伴い、高齢者の割合が増えています。こうした傾向は蒲郡市だけでなく、全国的になっています。

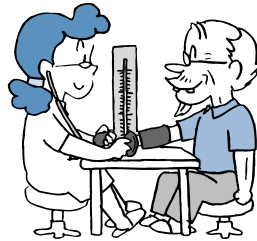
発病しやすい高齢者

結核は50年代まで毎年50万人近い患者さんを出し、全国にまん延していました。この時代に青春期を送った現在の高齢者の多くの方がその時に結核の感染を受けており、発病は免れたものの、結核菌をからだの中に抱えたまま高齢に達しているのです。結核菌は、からだの免疫力によって抑え込まれ冬眠状態になっています。

しかし、加齢や生活習慣病、大

きな手術などで体力、抵抗力が低下し、眠っていた菌が活動を再開して高齢者の人たちが発病しやすくなっています。

空気中に漂う結核菌



結核は結核菌という細菌による空気感染でおこる病気です。患者のせきやたんの中にある結核菌が空気中に浮遊し、それを吸い込むことで感染します。しかし、感染しても、必ず結核になる(発病する)とは限りません。また、発病しても入院・抗結核薬の内服などの専門の治療を受けることにより(初期強化療法)2～3週間で感染性はなくなり、9カ月と、昔に比べ短くなり結核は治る病気になっています。



こんな症状に気をつけよう

結核の初期症状でよくみられるのは、せき、たん、発熱、けん怠感、胸痛といった症状です。風邪の症状と似ていますが、このような症状が2週間以上続く場合は、医療機関に「結核が心配です」と言ってお診することをおすすめします。

また、高齢者ではせきは目立たず、微熱を伴う食欲不振や体重減少などが主症状の例も珍しくありません。何となく体調が悪いと思ったら、早めに受診しましょう。

平成16年の結核患者発生状況

	蒲郡市(人)	愛知県(人)
新たに結核と診断された患者数	9 (6)	806 (362)
たん中に結核菌が見つかった患者数(再掲)	5 (2)	372 (181)

※()内は70歳以上の患者数



若い人だって危ない

20～30歳代の若い世代の結核も見逃せません。その大きな理由は、無理なダイエットや不規則な生活



早期のBCG接種

によって体の抵抗力が弱まっている反面、活動範囲が広く、さまざまな人と接触する機会が多いためといわれています。さらに、最近の気密性の高い建物内では汚染された空気が留まりやすいため、免疫のない若い人たちが職場で集団感染を起こすという事例も全国的に増えています。



結核を予防するには

今年4月から結核予防法が一部改正され、生後6カ月になる前までの早い時期にBCG接種ができるようになりました。蒲郡市では生後4カ月前後にBCG接種の個別通知をしています。この機会を逃さずにBCGを接種しましょう。

睡眠をしっかりとり、栄養バランスのとれた食生活や適度な運動をして心身ともにリラックスするなど、毎日の健康管理に気をつけましょう。

お気軽にご相談ください

相談・問合先

豊川保健所蒲郡支所地域保健課
蒲郡市浜町4-1-2

☎69♦3156